

# 富山県小矢部市飼料用米推進協議会の循環型農業

- 富山県奨励品種「てんたかく、てんこもり（主食用米）」を活用した特産の卵の生産を目的として、平成20年に耕種農家、畜産農家、市、JA等を構成員として「小矢部市飼料用米推進協議会」を立ち上げ、取組を開始
- 飼料用米の作付面積は、平成20年の13haから平成26年は80haと約6倍に拡大
- 地元の養鶏農家は、買い取った飼料用米（粳米）を配合飼料に10～15%混合し給与
- 生産された卵は、小矢部市のブランド特産品「小矢部の米（my）たまご」として、県内スーパー等で販売
- 養鶏農家から発生する鶏糞を発酵させ、市内の米・麦・大豆のほ場へ散布することによる「循環型農業」に取組中

